

高品質な米作りへ

神奈川県・相模原市
JA相模原市 巡回指導しつかり

【神奈川県・相模原市】JA相模原市営農経済部は、高品質な米作りを目指し、水田巡回指導をしている。出穂前の7月と収穫間近の9月の年2回、希望者の水田を訪ね、生育状況などを確認する。

9月中旬には、同JA営農経済部と神奈川県農業技術センターの職員が、問い合わせのあった2地区7戸を訪問。水稲「はるみ」や「キヌヒカリ」などの生育状況や色づき、病虫害被害の有無を直接確認した。

「収穫はいつごろが良いか」「一部に病気が出てしまったが原因と対応は」といった生産者の質問に答え、農薬の散布時期や水田の管理方法など、来年度に向けた改善点も指導した。

巡回では順調な生育



稲の状態を確認する生産者（右手前2人）と職員ら（神奈川県相模原市で）

が見られたが、台風が多い時期に入るので、予報をよく確認し、刈り遅れにならないよう注意を呼びかけた。

JA営農経済部指導販売課の坂本貴司さんは「毎年、気象条件などは異なるため、生育の振り返りは大切。来年の栽培に生かしてほしい。質の高い米が収穫できるよう、これからも生産者に寄り添った取り組みを行ってきたい」と話した。